

火やストーブの 取り扱いに注意！

問い合わせ

消費生活センター（産業振興課内） ☎573236

【相談日】火・金曜日（祝日・年末年始を除く）

9時～12時・13時～16時



【事例】

就寝中に寝返りを打った際、足元付近に置いていた衣類が電気ストーブに接触し出火した。初期消火を試みたが消火できず、逃げ遅れて死亡した。（80歳代 女性）

【アドバイス】

- 例年、12月からストーブによる火災が増えます。電気ストーブ類は、炎が出ていないため安全に見えますが、熱があるので火災の危険があります。
- ストーブの近くに布団・衣類や雑誌などがあると接触して出火する危険があります。ストーブの周囲には物を置かないことが大切です。
- 寝るときや、その場を離れるときは、必ずスイッチを切るようにしましょう。使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておくことも予防につながります。
- ※「電気ストーブ類」とは、電気ストーブ、カーボンヒータ、ハロゲンヒータ、温風機を含みます。

【事例】

湯を沸かそうとコンロに鍋をかけたら、隣のコンロの火がベストに着火し炎が上がった。妻がすぐ気付きタオルで火を消したが、溶けた繊維で妻が指にやけどをした。（被害者：70歳代 女性）

【アドバイス】

- ろうそくやコンロの火が衣服に燃え移ると大変危険です。身近な火気の取り扱いには十分に注意し、火に近づきすぎないように気をつけてください。仏壇やコンロなどの奥のものを取るときは、必ず火を消してから行いましょう。
 - 袖や裾が広がっているデザインの衣類やスカーフ、ストールなどは、火を使う際は身に着けないようにしましょう。
 - もし衣服に火が付いてしまったら、脱ぐ、たたく、水をかけるなどとしてすぐに消火しましょう。
- （国民生活センター発行「見守り新鮮情報236・353号」より）

おたけ。ごみ事情 No.29

再び、 ごみ収集車から 火災発生！

問い合わせ

環境整備課リサイクルセンター ☎525101



10月28日の「もやさないごみの日」玖波地区内で、ごみステーションに出されたごみを回収しているときに、ごみ収集車内から火災が発生しました。

直ちに、収集作業員が、車両に常備している消火器で初期消火を行いました。が鎮火には至らず、近隣住民の協力による消火活動によって鎮火。

幸い大事には至りませんでした。火災現場では、消防署・警察署による火災原因の調査が行われ、燃え殻の中から、「焼け焦げ、破裂した跡の残るスプレー缶」が確認されました。

今回と同様の火災が、5月の「もやさないごみの日」にも発生したばかりであり、その際も、燃え殻の中から、複数の「スプレー缶」や「使い捨てライター」が確認されました。

こうした火災は、ごみの分別が正しく守られていないため発生したと考えられます。

今後、こうした火災が発生することのないよう、次のことを必ず守ってください。

スプレー缶・カセットボンベは「カンの日」

殺虫剤・ヘアスプレーなどのスプレー缶やカセットボンベは、必ず中身を空にして、「カンの日」に出してください。

※引火による爆発のおそれがあるため、缶は、穴開けをしないで出してください。

ライターは「もやさないごみの日」

ライターは、必ず全て使い切った「もやさないごみの日」に出してください。

水道管の

凍結に

注意！

問い合わせ

上下水道局工務課 ☎592192

水道管が凍結

12月から2月までの冬場は、水道管の凍結に注意が必要な季節です。瀬戸内海に面し、比較的温暖な大竹市でも毎年のように水道管の凍結や破裂事故が発生しています。

凍結で水道管が破裂すると、修理に費用がかかることはもとより、漏水により多量の水が無駄になります。

気象情報などに十分注意し、旅行などで長期間留守にする場合や所有する家屋が空き家となっている場合は、特に注意してください。空き家の場合は、屋内で凍結・破裂し、長期間、漏水に気付かなかつたケースもあります。

事前の対策と点検を

水道管の中の水は気温がマイナス4℃（風当たりなどの強い場所ではマイナス1℃）程度で凍結するとされています。特に、屋外にある蛇口や給湯器、むき出しの水道管は凍結しやすいので保温材の取り付け、ごく少量の水を出しておくなど、事前の対策



をおすすめします。また、既に保温材が取り付けられている場合でも、古くなっていたり隙間が空いていたたりすると効果が低下していますので、点検しましょう。

凍結で水が出なくなったら

凍結で水が出なくなった場合は、気温が上がり溶けるのを待つか、凍結部分にタオルや布などをかぶせ、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしてください。破裂する恐れがあるので、けつして熱湯をかけないでください。

元栓（止水栓）の確認を

凍結で水道管が破裂したときは、水道の元栓（止水栓）を閉めて大竹市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。（自己負担）また、万一のときのため、あらかじめ元栓（止水栓）の位置（概ねメーターボックスの中またはその付近）と、水が止まることを確認しておいてください。古いタイプの止水栓は、パッキンの摩耗により水が止まることがあり

ますので、大竹市指定給水装置工事事業者は、市ホームページや「暮らしの便利帳」に掲載しています。（水道管の凍結を行ってください。（自己負担）

大竹市指定給水装置工事事業者は、市ホームページや「暮らしの便利帳」に掲載しています。（水道管の凍結を行ってください。（自己負担）

岩国大竹道路工事に伴う 市道迂回路の変更

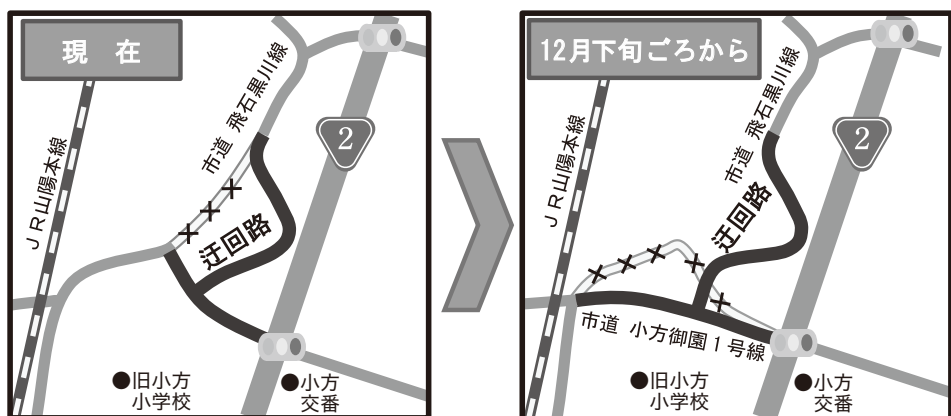
問い合わせ

国土交通省中国地方整備局広島国道事務所調査設計課

☎082-281-4136

土木課

☎59-2164



結に関する記事は、市ホームページ「水道管の凍結」で検索

